

夷隅の神々



しくみ

「大朝日岳」

- 磯部神社 338.45km - 滝口神社 - 大朝日岳 338.45km
- 佐美長神社 338.81km - 硯山長福寺 - 大朝日岳 338.81km
- 千田寺 340.40km - 山王神社 - 大朝日岳 340.40km
- 天の岩戸 332.74km - 夷隅神社 - 大朝日岳 332.74km
- 神前神社・許母利神社 336.81km - 浅間神社 - 大朝日岳 336.81km
- 栄野神社 339.30km - 東栄寺 - 大朝日岳 339.30km
- 丸山 337.85km - 八坂神社 - 大朝日岳 337.85km
- 金剛證寺奥之院 339.05km - 天御中主神社 - 大朝日岳 339.05km
- 一ノ木大明神 336.99km - 浪切不動尊 - 大朝日岳 336.99km
- 夫婦岩 338.36km - 日月神社 - 大朝日岳 338.36km
- 青峰山 338.36km - 日月神社 - 大朝日岳 338.36km
- 天の岩戸 340.36km - 喜原神社 - 大朝日岳 340.36km
- 宇氣比神社奥の院 333.81km - 国吉神社 - 大朝日岳 333.81km
- 宇氣比神社 333.72km - 上総出雲大社 - 大朝日岳 333.72km
- 金胎寺 329.64km - 太高寺 - 大朝日岳 329.64km
- 志嶋神社 337.46km - 賀茂神社 - 大朝日岳 337.46km

「大沼浮島」

- 伊我理神社 - 304.02km 荏原神社 - 大沼浮島 304.02km
- 朝熊神社 342.83km - 瀧口神社 - 大沼浮島 342.83km
- 馬瀬神社 343.07km - 坂水寺 - 大沼浮島 343.07km
- 小俣神社 344.445km - 香取神社 - 大沼浮島 344.445km
- 朝熊ヶ岳山頂 399.33km - 清水寺 - 339.33km 大沼浮島
- 倭姫宮 345.415km - 総社鹿島宮 - 大沼浮島 345.415km
- 度会大国玉比売神社 346.85km - 飯縄神社 - 大沼浮島 346.85km
- 瑞泉院（旧大江寺）344.59km - 日吉神社 - 大沼浮島 344.59km
- 東光庵 346.82km - 喜原神社 - 大沼浮島 346.82km
- 志宝屋神社 336.56km - 行元寺 - 大沼浮島 336.56km
- 丸山 334.30km - 小又井観音堂 - 大沼浮島 334.30km
- 前山頂上 348.73km - 岩船地藏尊 - 大沼浮島 348.73km
- 志嶋神社 335.45km - 法興寺 - 大沼浮島 335.45km
- 猿田彦神社 325.36km - 蓑毛神社 - 大沼浮島 325.36km
- 伊雑宮 320.18km - 小鷹神社 - 大沼浮島 320.18km
- 坂社 332.29km - 面足神社 - 大沼浮島 332.29km

「大朝日岳」

■磯部神社 338.45km - 滝口神社- 大朝日岳 338.45km

勝頂角

滝口神社

不明。深堀の滝口神社は嘉祥3年（850年）創建。東海6社の親神。御祭神は豊玉彦命。千葉県いすみ市下布施

左負角

磯部神社

磯部は、伊雑宮鎮座の地であり、伊雑神戸の郷として神宮との関係が密接で、郷内四十余社も伊雑宮の摂末社のような関係を保って奉祀が続けられてきたが、明治の末年頃神社合祀の気運が高まり、村内の坂崎を除く10大字の各神社を正月殿社跡の現在地に移転合祀し磯辺神社と単称したものである。祭神は、正哉吾勝勝速日天忍穗耳尊（オシホミミ）など計48柱の神々。

三重県志摩市磯部町恵利原1250



右負角

大朝日岳（朝日連峰・朝日岳）

磐梯朝日国立公園の朝日連峰主峰。『三大実録』には「出羽国の白盤神と須波神に従五位下を受けた」とあり、須波神は朝日岳のことで龍蛇神の諏訪神とされる。大円寺『朝日嶽縁起』（1505年）によると朝日嶽大富権現は、大富権現・女躰権限・子守権現の三処であり、本地佛は、大富権現は弁財天（初頭神は大山祇神）、女躰権現は大日如来（木花咲耶姫命）、子守権現は正観音で大山祇神の娘溝織姫命であるとする。役の小角が出逢った女神は女躰権現。朝日嶽信仰は執権北条時頼（1246～56）によって千年封じされたまま現在に至る。山形県西村山郡朝日町。

備考三処とは、ほぼ二等辺三角形に位置する大朝日岳（大富）・小朝日岳（子守）・西朝日岳（女躰）ではないかと思われる。大富権現の「富」は出雲族の富族を表すのでは。朝廷が位を受けたのは平安時代の貞観地震の翌年のこと。過去に朝日岳に対してやましい事実があったことを裏付けられる。



■佐美長神社 338.81km - 硯山長福寺 - 大朝日岳 338.81km

硯山長福寺

大同2年(807)宗祖伝教大師自ら建立されたと伝えられる古刹。源頼朝が平家追討の書状を当寺でしたため、寺が差し出した硯が素晴らしかったので「硯山」の山号を頂戴したとも伝える。また、布施城主上総介広常の攻略後、源頼朝が当寺に立ち寄り本堂前の槇の大木に筆を掛けたとする伝説「筆掛の槇」もある。

いすみ市下布施 757



佐美長神社

伊雑宮所管の神社で、御祭神は大歳神。古くから大歳社、穂落社とも呼ばれている。祭神は、稲穂を千田に運び落とした真名鶴を称える大歳神。穂落伝承に登場する真名鶴が大歳神であるとされる。ほかに「大歳神」はスサノオの子であるとする説、伊佐波登美神またはその子とする説、穀物の神とする説が出されている。「大歳神」の名の由来は、「穂落（ほおとし）が大歳（おおとし）に変わった」とする説と、「鶴が長寿を象徴することから、多き年が転じて大歳になった」とする説がある。社地には、伊雑宮所管社の佐美長御前神社四社が御座。佐美長神社・佐美長御前神社を所管する伊雑宮との間は、およそ800mほど離れている。この伊雑宮と佐美長神社を結ぶ道を「御幸道」（ごこうみち）と言い、かつて神が両神社を往来したと伝えられる。「佐美長神社の神体は岩石であり、岩石に付着した海の藻と思しき物が潮の干満に合わせて上下し、常世不変の神であることを示す」という口伝がある。伊勢神宮が所管する神社の中では珍しく東向きに建つため、式年遷宮のたびに社殿が南北に移動するという伊勢神宮の中では特異な社殿である。東向きである理由は、東にある伊雑ノ浦を意識したという説がある。

三重県志摩市磯部町恵利原



大朝日岳（朝日連峰・朝日岳） ※上記参照

■千田寺340.40km - 山王神社 - 大朝日岳 340.40km

山王神社

千葉県いすみ市小沢

千田寺

聖徳太子が来て、神池に感歎し、殿堂を数多く建立した。山全体を無量山と号し、寺を千田寺と名づけ、倭姫の古事を残し、太子自ら三歳の御姿を彫刻して、別殿に納めた。行基の開基ともいわれる古刹であったが、1878年(明治11年)に焼失、廃寺となった。千田寺跡＝杵築大社跡 持統天皇による勅賜門を建立。

倭姫命旧蹟地

(千田の御池) 倭姫命さんがこの地で真名鶴が一莖(くき)千穂の稲穂をくわえ、飛び鳴くのを奇瑞となされ稲を天照大神さまに献ぜられ、この地に引水田を苗代を造られたという。この池を千田のみ池といい、今は十坪ほどの窪んだところとなっていて注連縄がめぐらせてある。

(天井石) 大正末期のこと千田寺跡の西隅であったこの大楠が樟脳用に伐り倒された根もとを掘ったところたて4mよこ3m厚50cmの天井石があらわれ、その下から鏡や勾玉などが出て来てこれは倭姫さんの遺蹟ではないかということになった。しかし、そのころ倭姫命を遥拝する神社が建設中であった。この掘り出された鏡などはもち去られこの地の鑑定は官憲に封じられてしまった。



現庚申堂

伊弉諾神(いざなぎ)伊弉冉神(いざなみ)と伊佐波登美命(いざわとみのみこと)の看板。庚申堂内には秋葉堂が鎮座
志摩市磯部町上之郷

大朝日岳(朝日連峰・朝日岳) ※上記参照

■天の岩戸 332.74km - 夷隅神社 - 大朝日岳332.74km

夷隅神社

天正18年(1590年)頃、本多中務大輔忠勝がこの場所にあった神宮寺を栗山に移転して牛頭天王を祀った。千葉県夷隅郡
大多喜町新丁

備考 社殿が天の岩戸を向いている

天の岩戸

磯部は、伊雑宮高天原でスサノオの乱行により皆が困り果てる中、アマテラスはある日スサノオが織り小屋に皮を剥いだ馬を投げ落とし、巻き込まれた織女が命を落としてしまった事に、嘆き・怒り、ついには天の岩戸にこもり、入り口を大岩で閉ざしてしまいました・・・の岩戸開きの場所。上流に猿田彦神社がある。三重県志摩市磯部町恵利原2

大朝日岳(朝日連峰・朝日岳) ※上記参照



■神前神社・許母利神社 336.81km - 浅間神社 - 大朝日岳 336.81km

浅間神社

不明 千葉県県いすみ市新田

備考 浅間神社の社殿は神前神社を向いている

神前神社・許母利神社

祭神はこの地方の土地の神、荒前比賣命。100m近い山頂に鎮座し、樹間を通して眼下は一面の伊勢湾である。末社の許母利神社(こもりじんじゃ)祭神は粟嶋神御魂(あわしまのかみのみたま)と荒前神社(あらさきじんじゃ)祭神は荒前比賣命(あらさきひめのみこと)がご同座されている。三重県伊勢市二見町松下

大朝日岳(朝日連峰・朝日岳)

※上記参照



■ 栄野神社 339.30km - 東栄寺 - 大朝日岳 339.30km

東栄寺

不明。千葉県いすみ市大原 860

備考 西（伊勢）の栄野神社↓に対し、東の栄寺という意味で名付けたのでは。

栄野神社

江神社は、もともとは大江寺の地にあった。江神社の域内に、文治2年に内宮一禰宜成長が天毘寺を建立し江寺と呼んでいた。中世に社寺共に衰え、大江寺として中興したとき、江神社は南の田畝の中に遷移した、これが現在の栄野神社。

伊勢市二見町江



大朝日岳（朝日連峰・朝日岳）

※ 上記参照

■ 丸山 337.85km - 八坂神社 - 大朝日岳 337.85km

八坂神社

治承四年(1180)、源頼朝が疫病の難を防ぐため、素盞鳴命を勧請した。大原十八社。千葉県いすみ市大原

丸山

丸興山庫蔵寺は、天長2(825)弘法大師が、朝熊の金剛鉦寺を創立した翌年にその奥の院として建立。

三重県鳥羽市河内町

備考 丸山は諏訪にもある。丸山は縄文遺跡と密接に結びついている例が多い。

大朝日岳（朝日連峰・朝日岳）

※上記参照



■金剛證寺奥之院 339.05km - 天御中主神社 - 大朝日岳 339.05km

天御中主神社

創建741年（天平13年）。明治の神仏分離令の時まで妙見神社だった。大原はだか祭りに参加。大原十八社。
千葉県いすみ市釈迦谷



金剛證寺奥之院

伊勢神宮の鬼門を守る寺として、神宮の奥之院ともいわれる。「お伊勢参らば朝熊をかけよ、朝熊かけねば片参り」と伊勢音頭の俗謡にも唄われ、参宮する人々は当寺に参詣するのが常であった。当山の草創は古く欽明天皇の頃、暁台上人によって開かれ、平安時代には弘法大師（空海）によって堂宇が建立され、密教修業の一大道場として隆盛を極めた。
伊勢市朝熊町



大朝日岳（朝日連峰・朝日岳） ※上記参照

■一ノ木大明神 336.99km - 浪切不動尊 - 大朝日岳 336.99km

浪切不動堂

不明。近くの大聖寺の浪切不動堂は有名。千葉県いすみ市大原

※ ↓左負角の一ノ木大明神の住所は大王町波切 近くには波切神社もある

一ノ木大明神

九鬼水軍一族の波切城への「一の木戸」があった名残とされる。三重県志摩市大王町波切

※ 「市杵島姫神」ではないか。

大朝日岳（朝日連峰・朝日岳） ※上記参照



■夫婦岩 338.36km - 日月神社 - 大朝日岳 338.36km

■青峰山 338.36km - 日月神社 - 大朝日岳 338.36km

日月神社

不明。大原地区の他二つの日月神社は大原十八社になっている。

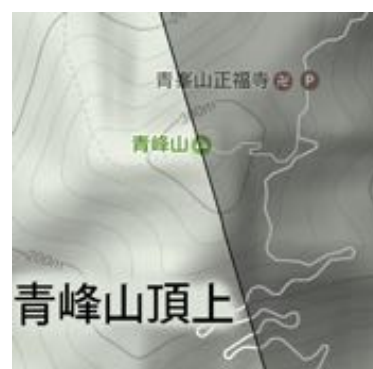
夫婦岩

磯部は、「伊雑宮夫婦岩」と呼ばれている立石と根尻岩を結ぶ大注連縄は、沖にある興玉神石の鳥居とされている。夫婦岩は磐座信仰と表裏一体と夫婦信仰の考えが祀られる対象となった。伊勢市二見町江

青峰山山頂

真言宗の古刹 青峰山 正福寺がある。三重県鳥羽市松尾町

大朝日岳（朝日連峰・朝日岳） ※上記参照



■天の岩戸 340.36km - 喜原神社 - 大朝日岳 340.36km

喜原神社 不明。「東光庵 - 喜原神社 - 大沼」のつながりもある。千葉県いすみ市上布施

備考 社殿が天の岩戸を向いている

天の岩戸 岩戸開きの場所。上流に猿田彦神社がある。三重県志摩市磯部町恵利2

大朝日岳（朝日連峰・朝日岳） ※上記参照



■宇氣比神社奥宮 333.81km - 国吉神社 - 大朝日岳 333.81km

■宇氣比神社 333.72km - 上総出雲大社 - 大朝日岳 333.72km

国吉神社

第27代安閑天皇（531-536年）の御代、国造は春日皇后に屯倉（みやけ）（御料地）を献上し、現在の神社の鎮まるいすみ市荻谷の地に勅使を迎える為の仮屋（かりや）が設けられ、後にこの仮屋跡に伊弉国造の祖である天穗日命（あめのほひのみこと）（出雲国造の祖でもある）と建比良鳥命が仕えた大国主命の御子神である健甕名方命がまつられたのが始まりです。千葉県いすみ市荻谷630

上総出雲大社

国吉神社に隣接。幕末の作田村に斧嶽（ふがく）と号する人並みすぐれた怪力と才知の持ち主が出雲大社の奉納相撲で無敵の強さを示し、千家宮司は神業としか思えないとして斧嶽に神璽（みしるし）を授けました。千葉県いすみ市荻谷

宇氣比神社

冤罪 占いの神様。本殿と拝殿の間に敷き詰められた白い玉石を洗い清める「白石くり」や、本殿、拝殿以下、「七社」「祓床」「門神」などすべての拝礼場所にかける「紙垂（しで）」など、古式による特殊神事が伝承されている。

三重県志摩市磯部町坂崎

奥宮

備考 裏山に小さな祠があった。元々の神様が奥の院か？

大朝日岳（朝日連峰・朝日岳） ※上記参照



■金胎寺 329.64km - 太高寺 - 大朝日岳 329.64km

太高寺

後醍醐天皇（1318-1339年）の命で京に上った夢窓国師出世の地。
千葉県いすみ市能実

金胎寺

高野山真言宗のお寺で、開山は天長年間（824～34）弘法大師による。鳥羽市鳥羽



大朝日岳（朝日連峰・朝日岳） ※上記参照

■志嶋神社 337.46km - 賀茂神社 - 大朝日岳 337.46km

賀茂神社

創建不詳。祭神は、賀茂別雷命主、瓊々杵尊、賀茂御祖命 千葉県いすみ市大原

志嶋神社

明治40年12月21日に村内各社を合祀し、志嶋神社と単称をうける。五男三女神をはじめ 計17柱。志摩市阿児町

※元々はいずれかの神社だったのでは。

大朝日岳（朝日連峰・朝日岳） ※上記参照



「大沼浮島」

■伊我理神社・井中神社 - 304.02km 荏原神社 - 大沼浮島 304.02km

荏原神社

元明天皇の御代、和銅2年（709年）9月9日に、奈良の元宮幣大社・丹生川上神社より高龍神（龍神）を勧請し、長元2年（1029年）9月16日に神明宮、宝治元年（1247年）6月19日に京都八坂神社より牛頭天王を勧請し、古より品川の龍神さまとして、源氏、徳川、上杉等、多くの武家の信仰を受けて現在に至っています。

東京都品川区北品川2丁目2-30



伊我理神社・井中神社

伊勢神宮豊受大神宮（外宮）の末社。外宮の宮域林に鎮座。同じ末社の井中神社（いなかじんじゃ）と同座している。

主祭神 / 伊我理神社：伊我利比女命 井中神社：井中神 創建 平安時代以前

伊我利比女命の名の由来は「猪狩」であり、五穀を食い荒らすイノシシを狩る女神である。こうした神が祀られているのは、昭和の中期まで「豊宮崎の神田」と呼ばれる神田を外宮が所有していたからである。井中神は、神田の井泉の神であるとされる。

三重県伊勢市岡本町



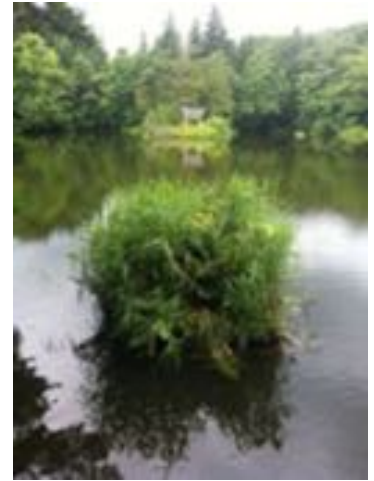
大沼浮島

湖畔にある大沼浮嶋稲荷神社（祭神/宇迦之御魂神）の神池とされ狐の形をしている。沼には大小の葦の島が風や流れに関係なく浮遊し、江戸時代には国の数32あり、その動きで吉凶を占っていたとされる。沼は白竜湖とも呼ばれ弁財天

が祀られている。大円寺『朝日嶽縁起』（1505 年）によると、朝日岳の麓に御手洗の「大富沼」があると記されている。

白鳳 9 年（681）役の小角（役の証覚・役の行者）が弟子の覚道を連れて出羽路に
来た折、大谷川（朝日町大谷）のほとりで梵字が記された板碑が流れくるのを見つけ、
川をさかのぼり、60 余りの島が浮遊する神池大沼を見つけた。湖畔に浮島稲荷大明
神を祀り、弟子覚道を別当（大行院）とし朝日岳修験が行なわれた。建久 4 年（1193）
には寒河江荘地頭となった大江広元の進言により源頼朝の祈願所になり、その後も大
江家、徳川家、最上家にも祈願所として崇敬された。国指定名勝。山形県西村山郡朝
日町大沼

備考/浮島は、現在は数も減り、岸に付き動かないことが多いが、動く時は流れや風
に関係なく意志があるかのように動き回り驚く。役の小角は梵字が書かれた板碑が流
れてきたのを見つけたのだから、すでに大沼は異教徒の浮島信仰の地だったはず。稲
荷神社の神池とされるが、「大富沼」が大沼なら元々は出雲系「富一族」の祀る沼だったのだろう。大朝日岳にも大富
観音が祀られていた。元々弁財天や龍神の神池に稲荷神が祀られたのだと考えられる。あるいは、730 年に「大沼社を
南西の丘に移す」記述があるが、その時に稲荷社にすり替えられたのかもしれない。いずれにせよ、古いしくみはほと
んどが稲荷神社ではなく大沼の島居の立つ「出島」（写真）が起点となっている。弁財天を祭神とする大沼浮島社（仮
称）はここにあったはず。全国に散らばる浮島神社の総本宮ではないか。そして、多くの神社の神池に浮島のごとく島
が作られ弁財天や市杵島姫が祀られているのも本来は分社だったのではないだろうか。池に囲まれた古墳すらも浮島に
見えてくる。古代史を探索する時、きっと浮島信仰は重要な鍵になるにちがいない。



■朝熊神社 342.83km - 瀧口神社 - 大沼浮島 342.83km

瀧口神社

創立当初は、塩田浦に鎮座していたが、後年津波に逢ったので現在地に移された。創建の嘉祥三年（850）は仁明天皇の
時代で、当社は内野郷（深堀・若山・新田）の郷社として、おやかみ（祖神の意）と称し郷内の崇敬が厚かったという。享保
19年（1734）に正一位を受領、明治39年勅命96号により神祇院本部に指定された。現在、東海地区六社の親
神をつとめる。 いすみ市深堀 **備考** 社殿が大沼浮島を向いている

朝熊神社

内宮第1位の摂社。祭神は、大歳神、苔虫神、朝熊水神。3柱の神はすべて朝熊平野の守護神かつ五穀と水の神であるとさ
れる。内宮の鎮座地を定めた倭姫命が垂仁天皇27年に石と化していた大歳神を祀る社を建てたのが朝熊神社の創始である
という。伊勢市朝熊町 **備考** 社殿が大沼浮島を向いている

大沼浮島 ※上記参照



■馬瀬神社 343.07km - 坂水寺 - 大沼浮島 343.07km

坂水寺

詳細不明。天台宗。いすみ市新田

備考 馬瀬神社の方を向いているよう。



馬瀬神社

創祀については不詳であるが、古くから当地に鎮座する社で、馬瀬の産土神として崇敬されていた。

馬瀬の地は、宮川と五十鈴川に挟まれた河口近くに位置し、下野の西、大湊の南にある。『神鳳鈔』には「馬瀬御藺」と記されている。当地は伊勢神宮領で、山田付属の村邑であった。『勢国見聞集』によれば、家数35、寺1であったといい、名物の青海藻が馬瀬のりとして知られていたと言う、また、当地には馬瀬狂言（県指定無形民俗文化財）が伝わっており、神祭行事として奉納されてきた。伊勢市馬瀬町

備考 大沼浮島を向いている



大沼浮島 ※上記参照

■小俣神社 344.445km - 香取神社 - 大沼浮島 344.445km

香取神社 不明。経津主神。いすみ市長志

小俣神社

『止由気宮儀式帳』にも記載があることから延暦23年（804年）以前から存在したことになる。古代は伊勢神宮とのつながりが深かった。伊勢神宮豊受大神宮（外宮）の摂社。外宮の摂社16社のうち第16位 伊勢市小俣町

大沼浮島 ※上記参照



■朝熊ヶ岳山頂 399.33km - 清水寺 - 339.33km 大沼浮島

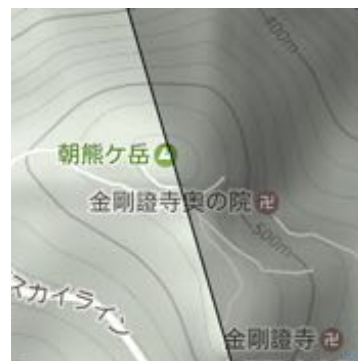
清水寺

延暦年間（782年 - 806年）に伝教大師（最澄）により草分けされ、慈覚大師（円仁）により新たに起こされ、坂上田村麻呂が、大同2年（807年）に建立したとされる。
本尊 千手観世音菩薩 奥院本尊 十一面観世音菩薩 いすみ市岬町



朝熊ヶ岳山頂

欽明天皇の頃、暁台上人によって開かれ、平安時代には弘法大師（空海）によって堂宇が建立され、密教修業の一大道場として隆盛を極めた金剛證寺奥之院がある。
伊勢市朝熊町



大沼浮島 ※上記参照

■倭姫宮 345.415km - 総社鹿島宮 - 大沼浮島 345.415km

総社鹿島宮

貞観年間(859-877)茨城県鹿島町の鹿島神社を分霊し、付近の数ヶ村の鎮守として崇めてきた。往時は神明台に在って、今の社地は当時の祭典場であったと言う。伊南十社の総社。いすみ市大原

倭姫宮

倭姫宮は、皇大神宮（内宮）の別宮で、おまつりする神様は倭姫命。倭姫命は天照大神の御神教（みおしえ）をうけて約二千年前に、五十鈴川の川上、現在の場所に皇大神宮をご創建されました。大きなご功績をお遺しになられた命の御徳をお慕いして、大正の初年から神宮司庁と宇治山田市（現在の伊勢市）が命をまつるお宮の創建を請願し、大正十年、皇大神宮別宮として倭姫宮のご創立が許可され、同十二年創建された。倉田山に隣接する間の山（あいのやま）に尾上御陵（おべごりょう）と呼ばれる小さな古墳がある。尾上御陵を倭姫命の陵墓とする伝承があった。伊勢市楠部町

大沼浮島 ※上記参照



■度会大国玉比売神社 346.85km - 飯縄神社 - 大沼浮島 346.85km

飯縄神社

いすみ市の戦国末期の武将・土岐頼春は、城内の高台に妙見堂を建立。妙見大菩薩を城の守り本尊とし、愛宕（アガ）・飯縄の両大権現（天狗）を武神として祀っていた。落城の折、飯縄様は背負われて矢指戸（ヤサド）村に運ばれた。これが現在の大原矢指戸地区の飯縄神社。いすみ市大原



度会大国玉比売神社

伊勢神宮豊受大神宮（外宮）の第4位摂社。祭神は、大国玉命（おおくにたまのみこと）と弥豆佐佐良比賣命（みずささらひめのみこと）の2柱。両神とも鎮座地の度会地方の地主の神である。神武天皇の代に天日別命（あめのひわけのみこと）が伊勢平定のために訪れ、両神が持っていた弓をかけて橋を作って出迎えたという。

磯部の有力者であった度会氏に豊受大御神の祭祀をゆだねた際に、度会氏が祭っていた氏神も伊勢神宮の中に組み込まれたものと考えられる。創建年代は明らかではないが、上述の通り伊勢神宮外宮に組み込まれる以前、すなわち雄略天皇22年以前から存在したと考えられる。中世にはほとんどの摂末社の祭祀が断絶した中で、度会大国玉比賣神社は祭祀が途絶えることも、鎮座地が移動することもなく、現代まで受け継がれてきたと考えられている。

三重県伊勢市岡本町



大沼浮島 ※上記参照

■瑞泉院（旧大江寺） 344.59km - 日吉神社 - 大沼浮島 344.59km

日吉神社

不明。いすみ市大原

瑞泉院（旧大江寺）

臨済宗妙心派であった大江寺が明治初年廃寺となった旧地に、同寺最後の住職大江竜眠和尚が明治21年朝熊山金剛証寺の塔頭の一つ瑞泉寺を譲り受けて開いた。伊勢市船江

大沼浮島 ※上記参照



■東光庵 346.82km - 喜原神社 - 大沼浮島 346.82km

喜原神社 不明。「天岩戸 - 喜原神社 - 大朝日岳」ともつながっている。いすみ市上布施

備考 社殿が東光庵を向いている

東光庵 不明 伊勢市小俣町

大沼浮島 ※上記参照



■志宝屋神社 336.56km - 行元寺 - 大沼浮島 336.56km

行元寺

嘉祥2年(849)慈覚大師円仁によって伊東大山(大多喜町伊藤)に草創されました。大師帰朝後、東国で最初に開山されたところから、「東頭山」と名づけられ、頭山三学院無量寿寺と称して隆盛を極めました。万喜城主土岐氏の祈願寺ともなり、天正14年(1586)6月に現在地に移築した。いすみ市荻原



志宝屋神社

伊勢神宮豊受大神宮(外宮)の末社。外宮の末社8社のうち第8位。伊勢神宮の末社の定義より『延暦儀式帳』成立、延暦23年(804年)以前に創建されたといえる。鎮座地の大湊町では、かつて製塩業が盛んに行われていた。伊勢市大湊町

備考 社殿が行元寺を向いている

大沼浮島 ※上記参照



■丸山 334.30km - 小又井観音堂 - 大沼浮島 334.30km

小又井観音堂

木造十一面観音立像。夷隅郡内にある仏像としてはもっとも古様であり、平安初期の彫刻の様式を持つものとして貴重です。いすみ市小又井

備考 御堂が大沼浮島と丸山に向かって斜めになっている

丸山

丸興山庫蔵寺は、天長2(825)弘法大師が、朝熊の金剛鉦寺を創立した翌年にその奥の院として建立。鳥羽市

※丸山は諏訪にもある。丸山は縄文遺跡と密接に結びついている例が多い。大朝日岳ともつながる。

大沼浮島 ※上記参照



■前山頂上 348.73km - 岩船地蔵尊 - 大沼浮島 348.73km

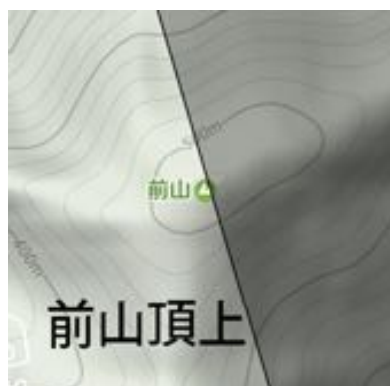
岩船地蔵尊

岩船海岸には、大しけにあった七十五座の神々が、漂流してこの地に上陸したという古い言い伝えがある。

いすみ市岩船

前山頂上 神宮林 三角点あり 伊勢市

大沼浮島 ※上記参照



■志嶋神社 335.45km - 法興寺 - 大沼浮島 335.45km

法興寺

長野善光寺本堂を再建した慶運大僧正（江戸初期）所縁の証である法興寺歴代住職の位牌を所蔵してある。いすみ市岬町

備考 御堂が志嶋神社を向いている

志嶋神社

明治40年12月21日に村内各社を合祀し、志嶋神社と単称をうける。五男三女神をはじめ 計17柱。志摩市阿児町

大沼浮島 ※上記参照



■猿田彦神社 325.36km - 蓑毛神社 - 大沼浮島 325.36km

蓑毛神社 不明。御神木が巨木指定。市原市南岩崎

備考 社殿（参拝方向）は大沼浮島に向いている。

猿田彦神社

記紀神話では、アマテラス大神を迎えたのが猿田彦。出会いの地は、五十鈴川の川上だった。つまり…この猿田彦の森（逢阪峠）を指しているとも考えられる。

「追跡アミキヨ」<http://mintun.exblog.jp/20437075/>

志摩市磯部町恵利原

備考 天の岩戸から20分ほど登ったところに杉の巨木と根元に小さな祠があった。たしかな神気を感じた。

大沼浮島 ※上記参照



■伊雑宮 320.18km - 小鷹神社 - 大沼浮島 320.18km

小鷹神社

祭神日本武尊。この一帯を開発した「鈴木太良大夫」が守護神として奉祀し、自ら祭主を務めたとされています。寿永3年(1182)には改めて現在地に鎮祀し、村の鎮守産土神となったと云われています。平安末期の遺跡あり。

市原市不入斗

伊雑宮

式内大社 皇大神宮（伊勢神宮内宮）の別宮の一社。度会郡大紀町の瀧原宮とともに、「天照大神の遙宮（とおのみや）」と呼ばれる。祭神/天照坐皇大御神御魂 伝 伊佐波登美命と玉柱命（瀬織津姫命）志摩市磯部町

大沼浮島 ※上記参照



■坂社 332.29km - 面足神社 -大沼浮島 332.29km

面足神社

面足之尊(オモダルノミコト)日本神話に登場する神である。中世には、仏教における天界の最高位である第六天魔王の垂迹であるとされ、特に修験道で信奉された。明治の神仏分離により、第六天魔王を祀る寺の多くは神社となり、「第六天神社」「胡録神社」「面足神社」などと改称した。市原市新井

備考 社殿が坂社と大沼浮島を向いて斜めになっている



坂社

古来より現在地に鎮座。坂野村社、坂村社、坂村殿、坂殿社などと呼ばれていたが、後に坂社と称し、明治4年11月に村社に列せられた社である。当社の創祀については詳らかではない。伊勢市八日市場町



大沼浮島 ※上記参照

備考

まだまだ同距離神社は探せる。岩船海岸には、大しけにあった75座の神々が、漂流してこの地に上陸したという古い言い伝えがある。この75座の神々で、伊勢の出雲族系猿田彦神時代の負け組の神々を朝日岳・大沼浮島ともに制圧しているのではないかな。

底辺に諏訪が通っているのも気になる。

